

# The Fourth iCeMS SEMINAR

**演 題：** Immunotoxins in 2008: Successes and Challenges:  
Effective Treatment of Drug Resistant Hairy Cell  
Leukemia by Immunotoxin BL22

**講演者：** Dr. Ira Pastan

Head, Molecular Biology Section  
Chief, Laboratory of Molecular Biology, Center for Cancer Research  
National Cancer Institute, National Institutes of Health, U. S. A.

**司会者：** 植田 和光 教授

京都大学アイセムス, 農学研究科 教授

**日 時：** 2008. 4. 23. (水) 16:00-17:00

**場 所：** 再生医科学研究所東館5階 ルーフテラス

ほとんどのガン患者さんは転移によって亡くなります。パスタン博士のチームは緑膿菌外毒素を分子工学的に加工し、ガン細胞だけを殺す方法を開発されています。すなわち、強力な毒素の細胞結合部分を切り取り、代わりに、ガン細胞に特異的に結合する抗体の Fv 断片や成長因子では、白血病やリンパ腫の治療の道を開く可能性がある BL22 と呼ばれる immunotoxin の開発状況についてお話しいただきます。

主 催：京都大学 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS = The Institute for Integrated Cell-Material Sciences)

京都大学 再生医科学研究所, 京都大学 農学研究科

共 催：日本農芸化学会

連絡先：京大再生研 楠見明弘 FAX: 075-751-4113 e-mail: akusumi@frontier.kyoto-u.ac.jp